

しいわ まな とき これ なら またよろこ ともあ
 子曰く、学びて時に之を習う。亦説ばしからずや。朋有り、
 えんぼう きた またたの ひとし いか また
 遠方より来る。亦樂しからずや。人知らずして慍らず、亦
 くんし
 君子ならずや。

【大体の意味内容】先生はおっしゃった。「様々な先輩たちの教を学び、まねをして、そしてたえず復習して熟達するようにする。（今まで浮かぶこともできなかったものが泳げるようになったようなものだから）なんと喜ばしいことではないか。

同じ 志 を持つものを朋という。その朋が遠いところから旅をしているところに出会って、互いの持っている知恵や教養を交換し合う機会に恵まれる。何と楽しいことではないか。（そのような偶然は、実は偶然ではなく、強い 志 を持っていればいずれ必ず巡り合うべくして巡り合えるのだ）
 自分の努力や達成できたことについて他人が知らなくても、ほめてくれなくても決して怒ったり不平不満を抱いたりしない。（自分の行いが誰かの役に立ったり、誰かを助けることにつながりさえすればそれが自分にとっても喜びなのだから。） そのような人こそ誠に理想の人格者ではないか。」

「学修塾ダンデリオン」の『学修』の意味がぎゅっと、濃く述べられています。